

2πr通信 (2023年10月号) R5/10/14 海老名精神保健福祉促進会「2πr」

本日は午前中定例会、午後1:30より高森先生のSST学習会です。

やっと涼しくなってきました。この夏は本当に暑くて、それこそ“生きているのが精いっぱい”といっても決して大げさではないくらい身体に堪えましたね。これからはしばらくは過ごしやすい日が続くことを期待して、2πrの活動をやっていきましょう。病気の家族のそれぞれのペースでの回復と、(自身も含め)日々の心やすらかな生活を願いながら。



[報告]

*9/15 (金) 保健所主催：第1回家族と当事者の生活を考える教室 参加 (会場3、Zoom2)

*10/3 (火) じんかれん研修会

「家族相談の意義とその対応 ～家族が元気になるヒントになれば～」

講師 みんなネット事務局長補佐 高村 裕子 氏

[予定]

*10/19 (木) 13:30～15:30 第3回「菜の花サロン」 ぱれっとにて

厚木保健所主催：第2回家族と当事者の生活を考える教室

[回覧参照](#)

*10/31 (火) 14:00～16:00 第2回家族と当事者の生活のヒント 厚木合同庁舎4階AB会議室

今回は当事者の体験談が中心です。⇒ 参加を希望される方は役員までお知らせください。

*11/5 (日) 11:00～13:00 聖子さんの当事者のためのお料理教室 中新田コミセン 500円

*11/11 (土) 13:00～16:00 じんかれん 第49回県民の集い in 小田原 小田原三の丸ホール

「ピアサポートの輪をひろげよう！仲間があなたを支えます」

一部 講演 聖学院大学教授 相川章子氏 / 二部 シンポジウム

[回覧参照](#)

*11/11 (土) イオン黄色レシートキャンペーン ぜひお買い物をしてレシートを2πrポストへ
2πrに集まったレシートの1パーセントがそっくり2πrに還元されます。

*11/19 (日) 市民祭り 休憩所当番 今年もIさんがやってくれます。

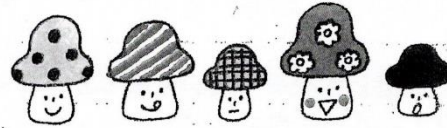
(上記、県民の集いのため11/11(土)の2πrの定例会は18日に延期します。)



11月18日(土) 11月定例会 13:00～15:30 第3会議室

人の迷惑を省みずにお届けします【気まぐれ刊】

シリーズ『ミスター X は考える』



(身体障がい者には松葉杖、車椅子があるのに)

『身体障がい者と心(精神)体障がい者の違い?』

(心体障がい者には何も無い)

もうかれこれ5年も前の事だが、某メンタルクリニックの家族会の講演会に講師として、某精神科病棟に勤務する40代の看護師さんが招かれた。その話の子細は、まだらボケが始まったミスター X には、既に記憶の外だが、看護師さんが開口一番に『精神看護(介護)って難しい!』と発した一言は、今でも耳元から離れない。言いそびれたが、その看護師さんは精神科病棟に勤務して2年になるが、その前は身体障害者並びに知的障害者の看護(介護)に十数年間携わって来られた。そのベテランの看護師さんに『難しい!』を言わせる『精神看護(介護)』に改めて奥深さを感じ家族として同感した。ここでまた、ミスター X の特技?の「脱線」が始まる。某大学の工学部長は、新生に毎年同じ話しをするので有名だ。神妙な顔つきで聞き入る新生を前に、工学部長は壇上から一枚のティシュペーパーを落とす。ティシュペーパーはヒラリヒラリと最前列の学生の足元に舞い落ちる。工学部長は言う。『たった一枚の紙切れの軌跡すら科学(工学)は解き明かす事が出来ないのです』そして続ける。『科学(工学→学問)は万能どころか小さな法則の中を右往左往するだけの、ちっぽけな学問です。君達は間違っても科学が万能、全能だと思っははいけません。神様から見たら星屑にも満たないのですから』そして最後に『だが、そのちっぽけな科学(工学)が人類に幸せをもたらすのです。どうか頑張ってください』工学部長は壇上を去る。脱線を復旧したい。この世の中の多くのものは法則(決まり事や判例や症例や定義等を含む)で成り立つから、予測や想定や仮定が立てられるが、法則のない分野はそれが出来ない。精神障害の統合失調症もそれに近いと思う事がある。同じ障害でも身体障がい者には一つの『法則(手や足や肢体の障害など)』がある。だからそれに対処する介助用具(車椅子や松葉杖など)もある。また、知的障がい者達には周囲がそれと判別(察して)するから、法則(決まり)のようなもの(雰囲気)が出来る。しかし私達の息子や娘の精神障がい者にはその法則が無い。正確には無い訳ではないが見分けるのが非常に難しい。障害がありながら障害が分からない(見えない→見えにくい)のが統合失調症だ。人は分からないもの見えないものに一種の不安や恐れを感じる。身体障がい者や知的障がい者と同じ障がい者でありながら、精神障がい者が世間から疎まれる理由の一つが、こんな所にあるような気がする。精神障がい者が世間に『認知(馴染む)』為にはどうすればいいのか?明日の課題だ。